

<p>1 会うは別れの始め</p>	<p>出合いの後には必ず別れがあるので、会うことは分かれること、始まりでもある。人生のおなしさを表した言葉。</p>
<p>2 秋茄子は嫁に食わずな</p>	<p>秋のなすは美味しくもつたないから、(または、体を冷やす効果があるから)嫁に食べさせてはいけない。</p>
<p>3 頭隠して尻隠さず</p>	<p>悪事や欠点をすべて隠し通したとおもっていても、実際にはその一部しか隠せていないことのとえ。</p>
<p>4 頭の上の蠅を追え</p>	<p>人の心配をするよりも、まずは自分のことをしっかりしなさい、ということ。人の世話を焼きたがる人などに使う。</p>
<p>5 当たるも八卦当たらぬも八卦</p>	<p>占いは当たることも外れることもあるので、結果を気にしすぎてはいけないということ。</p>
<p>6 あちら立てればこちらが立たぬ</p>	<p>ものごとを、二つの立場の両方を満足させられるようにするのは難しい、ということ。</p>
<p>7 暑さ寒さも彼岸まで</p>	<p>夏の暑さや冬の寒さは、彼岸の頃には和らいで、過ぎやすくなるということ。</p>
<p>8 後は野となれ山となれ</p>	<p>目先の問題さえ片付けば、あとはどうなってもかまわない。なるようになれ、という無責任な態度。</p>
<p>9 あばたもえくぼ</p>	<p>好きになると、相手の欠点までもが長所に見えてしまうということ。</p>
<p>10 虻蜂取らず</p>	<p>二つの物を両方手に入れようとして、どちらも取り逃すこと。欲張りすぎて失敗すること。</p>
<p>11 雨降って地固まる</p>	<p>争いごとや悪いことが起こった後には、かえって物事がうまくいくこと。</p>
<p>12 案ずるより産むが易し</p>	<p>やる前からあれこれ心配していた物事も、実際にやってみると、思っていたよりもたやすいものだということ。</p>
<p>13 石の上にも三年</p>	<p>つらくて大変なことでも、辛抱して続ければいつかは成功する。</p>
<p>14 石橋をたたいて渡る</p>	<p>用心を重ねて、物事を慎重に行うことのとえ。</p>
<p>15 医者の不養生</p>	<p>人には立派なことを言っておきながら、自分は、それを実践していないことのとえ。</p>
<p>16 いずれ菖蒲か杜若</p>	<p>どちらも優れていて、優劣がつけられないこと。</p>
<p>17 急がば回れ</p>	<p>危険な近道を通るより、遠回りでも確実な道を通る方が早く目的地に着く。</p>
<p>18 一事が万事</p>	<p>ある一つのことを見れば、ほかのすべてのことも推察できる、ということ。</p>
<p>19 一難去ってまた一難</p>	<p>次から次へと災難がやってくること。</p>
<p>20 一富士二鷹三茄子</p>	<p>初夢に見ると縁起がいいとされるものを、順に並べた言葉。</p>